

《内閣府 男女共同参画局から》

- 「令和元年版 男女共同参画白書」を閣議決定・公表しました。
- 令和元年度「男女共同参画週間」ポスター決定！
- 「テレワーク・デイズ2019」の参加登録の受付を開始しました！
- 「令和元年度 男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」参加申込の受付を開始しました！
- 3月4日（月）に開催された第7回「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言 賛同者ミーティングの様子をまとめた動画を作成しました！
- リーフレット「『輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会』行動宣言賛同への招待」を改訂しました！

《お知らせ》

- NWEC女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』【文部科学省】
- 「女性関連施設相談員研修」開催【文部科学省】
- 国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019～情の時代～」（8月1日（木）～10月14日（月・祝）開催）
【お知らせ】

- 「女子中高生夏の学校2019～科学・技術・人との出会い～」参加者募集【文部科学省】
- 従業員の育児休業取得・介護離職でお困りの事業主・人事労務担当者の方へ。育児プランナー・介護プランナーがお手伝いします！【厚生労働省】
- 「イクメン企業アワード2019」「イクボスアワード2019」応募受付中です！7月31日まで【厚生労働省】
- 自営型テレワーク活用セミナー in東京～自営型テレワークの適正な実施のためのガイドラインの説明～【厚生労働省】
- 「HeForSheプラスワン！」について（6月30日（日）14:00～16:30）【UN Women】
- 「WPLサミット2019」が6月26日から27日まで国会で開催されます！【衆議院事務局】

《内閣府 男女共同参画局から》

- 「令和元年版 男女共同参画白書」を閣議決定・公表しました。

本日（6月14日）に「令和元年版 男女共同参画白書」を公表しました。

今年は、女性が自信と働きがいを持って仕事をし、また、男女ともに社会の様々な場面で活躍していくためには「学び」が重要であるとの考えから、

「多様な選択を可能にする学びの充実」を特集テーマとしました。

学生時代の進路選択に関する男女の相違の背景を把握し、多様な進路選択を可能にするための課題を明

らかにするとともに、社会人の学びとして、

仕事のための学びや、家庭生活や地域生活を充実させるための学びを取り上げ、学びの充実に向けた課題について整理しています。

本白書は、内閣府男女共同参画局のホームページに掲載されておりますので、是非、ご覧ください。

※詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/index.html

●令和元年度「男女共同参画週間」ポスター決定！

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

本年度は、「男女共同参「学」」、「知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる」というキャッチフレーズの下、男女共同参画社会の実現に向けた各種広報啓発活動等を実施します。

この週間の中央行事として、「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」を6月25日(火)に東京国際フォーラム ホールC（東京都千代田区）において開催するほか、

地方公共団体や女性団体その他の関係団体の協力の下に、男女共同参画社会の実現に向けた各種行事及び広報啓発活動を行います。

※ポスターはこちらから！

http://www.gender.go.jp/public/week/kako/week_kako.html

●「テレワーク・デイズ2019」の参加登録の受付を開始しました！

場所にとらわれず、通勤時間から解放される柔軟な働き方を実現するテレワークー

総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府では、東京都及び関係団体と連携

し、2017年より、2020年東京オリンピックの開会式にあたる7月24日を「テレワーク・デイ」と位置づけ、働き方改革の国民運動を展開しています。2019年は、2020年東京大会前の本番テストとして、7月22日（月）から9月6日（金）の約1ヶ月間をテレワーク・デイズ2019実施期間と設定し、テレワークの一斉実施を呼びかけます。

現在、

- ・実施団体：参加人数等を問わずテレワークを実施又はトライアルを行う団体
- ・特別協力団体：テレワークの実施に際し、（1）5日間以上実施、（2）7月24日（水）に100名以上実施、（3）効果測定（実施人数、コスト削減の効果等）に協力可能な団体
- ・応援団体：テレワークに係る実施ノウハウ、ワークスペース、ソフトウェア等を提供する団体、およびワーケーションを支援する団体

の参加登録を以下ホームページで受け付けています。

積極的にご参加ください！

<https://teleworkdays.jp/>

●「令和元年度 男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」参加申込の受付を開始しました！

日時：令和元年6月25日（火）13:00～

場所：東京国際フォーラム ホールC

会議の詳細・参加申込は、以下をご覧ください。

<http://www.gender.go.jp/public/event/2019/zenkoku/annai.html>

●3月4日（月）に開催された第7回「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言 賛同者ミーティングの様子をまとめた動画を作成しました！

動画では、中根一幸内閣府副大臣のご挨拶や、SDGパートナーズ 代表取締役CEO 田瀬 和夫氏および積水

ハウス株式会社 代表取締役社長 仲井 嘉浩氏によるご講演、片山さつき女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣（男女共同参画）のご挨拶のほか、中根副大臣と賛同者の皆様が「行動宣言に沿った取組」の紹介や「自組織が女性活躍を推進するにあたっての課題」、「現在もっとも注力していること」などについて熱い議論を交わしている様子等を紹介しております。

以下の2か所に掲載しておりますので、ぜひご覧ください！（全2分25秒）

○「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言 賛同者ミーティング第7回会合を開催

http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/meeting/meeting07.html

○「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言 トピックス

http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/index.html

●リーフレット「『輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会』行動宣言賛同への招待」を改訂しました！

内閣府では、「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言の概要や賛同者の具体的な活動を紹介するリーフレット（日・英）を作成しています。

この度、地域における男性リーダーのネットワークや、国内外への発信等の活動をご紹介した令和元年度版を男女共同参画局HPに掲載しましたので、ぜひご利用ください。

※ダウンロードはこちら↓

http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/declaration.html#leaflet

《お知らせ》

●「NWEC女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』」【文部科学省】

NWECでは、女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』を開催します。

ベアテ・シロタ・ゴードンさん（1923～2012）は、ウィーンで生まれ1929年に著名なピアニストである父レオ・シロタ氏の東京芸術大学教授赴任に伴い家族で来日しました。日本のアメリカンスクールを卒業後、アメリカ西部の伝統ある女子大ミルズ・カレッジに学びます。1945年から1946年の2年間、再び日本に滞在し、GHQ民政局員として日本国憲法草案作成に携わり、草案第14条「法の下（もと）の平等」、第24条「両性の平等の原則」の条文作成に寄与しました。1990年頃からは、日本各地で自身が関わった日本国憲法についての講演活動を活発に行いました。

ベアテさんの幼少期から晩年までの各時代の写真、日本国憲法草案作成に関わる資料、日本での講演のチラシ・パンフレットなどを展示します。みなさまのご来場をお待ちしています。

・ 期間 2019年4月26日（金）～2019年9月30日（月）

9時～19時（休館日をのぞく）

・ 会場 国立女性教育会館女性アーカイブセンター展示室（本館1階）

・ 料金 無料

● 「女性関連施設相談員研修」開催【文部科学省】

NWECでは、女性に対する暴力などの喫緊の課題解決を目指し、複雑・多様化する悩みに男女共同参画の視点から適切に対応できる相談員の育成と業務の質の向上を図るための専門的・実践的研修を実施します。

・ 日時 2019年6月19日(水)～6月21日（金）【2泊3日】

・ 会場 国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町菅谷728)

・ 対象 女性関連施設、相談機関等の相談員等90名

・ 申込開始 第1次（初めて参加される方）2019年5月13日(月)～

第2次（過去に参加経験がある方）2019年5月20日(月)～

- ・締切 2019年5月30日(木) ※先着順
- ・参加費 無料(宿泊費1泊1,200円、食事代、情報交換会費(希望者のみ)は別途)

詳細は、こちらをご覧ください。

https://www.nwec.jp/event/training/g_soudan2019.html

問合せ先

国立女性教育会館事業課 島田、石倉

TEL : 0493-62-6724

●「あいちトリエンナーレ2019～情の時代～」の開催（8月1日（木）～10月14日（月・祝））【お知らせ】

【あいちトリエンナーレ2019～情の時代～】

日程：2019年8月1日（木）～10月14日（月・祝） [75日間]

会場：愛知県及び豊田市の美術館、市内各地

テーマ：「情の時代」感情／情報／情（なさけ）など

※「ジェンダー」をテーマとした作品も紹介されます。

今年2019年8月1日（木）から10月14日（月・祝）の75日間の日程で、愛知県名古屋市と豊田市で開催される国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」で、参加作家の完全なジェンダー平等が実現する運びとなりました。

美術業界は女性の割合が多い業界で、現在の主要な美大の男女比は、7割が女性で男性は3割です。美術館の学芸員も女性が多く、66%——3人に2人は女性です。しかし、行政が主導する国際芸術祭の参加作家となると、海外であっても、日本であっても参加作家の割合は、男性7割、女性3割と逆転します。美術館の館長は9割近くが男性です。

美大の教員も8割以上男性によって占められています。女性の中に良い作家がたくさんいるのに、「選ぶ

側」が男性中心であるためこの構造が変わらない——あいちトリエンナーレではこの構造を変えるア
ファーマティブ・アクションとして、今回の参加作家のジェンダー平等を実現しました。

会場では、参加女性作家による、ジェンダーの問題を想起させるようなアートも展示される予定です。
会期が始まりましたらぜひ皆様愛知県まで足をお運びください。

※詳細は以下をご覧ください。

<https://aichitriennale.jp/>

●「女子中高生夏の学校2019～科学・技術・人との出会い～」参加者募集【文部科学省】

国立女性教育会館（NWEC）では、女子中高生の理系進路選択を支援することを目的に「女子中高生夏の
学校2019～科学・技術・人との出会い～」を開催します。キャリア講演や実験・実習、学生企画のプロ
グラムなど多彩なプログラムを通じて、「科学技術にふれ」、科学技術の世界でいきいきと活躍する女
性たちと「つながり」、科学技術に関心のある仲間や先輩とともに「将来を考える」3日間です。

日程：8月9日(金)～8月11日(日)〔2泊3日〕

会場：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町菅谷728）

対象：女子中高生（中3、高1～3年）100名

締切：6月21日（金）17時

参加費：無料（宿泊費8,100円(食事代含む)は別途）

詳しくは、こちらをご覧ください。

https://www.nwec.jp/event/training/g_natsugaku2019.html

問合せ先

国立女性教育会館事業課 櫻井、石倉

TEL:0493-62-6724

●従業員の育児休業取得・介護離職でお困りの事業主・人事労務担当者の方へ。

育児プランナー・介護プランナーがお手伝いします！【厚生労働省】

育児休業を取得予定の従業員がいる、従業員の介護離職を防ぎたいと考えていらっしゃる事業主・人事労務担当者の方を対象に、社会保険労務士等の資格を有する育児プランナー・介護プランナーが訪問し、円滑な育児休業・介護休業等の取得から職場復帰、職場復帰後の働き方の支援方法や休業中の職場環境の整備方法について無料でアドバイスいたします。

プランナー支援の詳細・お申し込みについてはこちら

⇒ <http://ikuji-kaigo.com/>

■支援の流れを動画でご覧になれます。

育児プランナーによる支援はこちら ⇒ <http://ikuji-kaigo.com/lp/ikuji>

介護プランナーによる支援はこちら ⇒ <http://ikuji-kaigo.com/lp/kaigo>

また、「中小企業のための育休復帰支援セミナー」と「仕事と介護の両立支援セミナー」を開催し、プランナー支援を経験した事業主の声とともに仕事と育児、仕事と介護の両立に向けた取組方法について紹介します。セミナー後には希望者を対象に個別相談会も開催しますのでぜひご活用ください！（事前申込制・参加無料）

6月・7月のセミナー開催情報・お申し込みについてはこちら

⇒ http://ikuji-kaigo.com/host_2019.html

●「イクメン企業アワード2019」「イクボスアワード2019」応募受付中です！7月31日まで

厚生労働省では、男性の育児と仕事の両立を推進する「イクメンプロジェクト」の一環として、今年度も「イクメン企業アワード」と「イクボスアワード」を実施します。

「イクメン企業アワード」では、男性の育児と仕事の両立を積極的に促進する企業・団体を表彰します。「両立支援部門」では、男性従業員の育児と仕事の両立を推進し、業務改善を図る企業・団体を表彰します。また、「理解促進部門」では、男性が家事や育児に積極的・日常的に参画することを促す企業・団体の対外的な活動を表彰します。

「イクボスアワード」では、部下の育児と仕事の両立を支援する管理職＝「イクボス」（男女不問）を企業・団体からの推薦によって募集し、表彰します。

厚生労働省では、受賞企業や受賞された方の取組をホームページや広報誌などで紹介し、ロールモデルとして普及させていくことによって、企業における育児と仕事の両立支援の推進や、男性労働者の育児休業の取得促進などに役立てていきます。

応募締切は7月31日（水）です。皆さまからの積極的なご応募をお待ちしています。全国各地、中小企業の皆さまからのご応募も歓迎いたします。

【詳細はこちら】

■イクメンプロジェクト公式サイト（応募要件、応募方法、応募書類など）

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>

■これまでの受賞企業・受賞者の取組

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/company/case/>

●自営型テレワーク活用セミナー in東京

～自営型テレワークの適正な実施のためのガイドラインの説明～

多様な働き方の一つとして自営型テレワークをとらえ、自営型テレワークの基本を知り、「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」を理解することで、自営型テレワークを活用する注文者及び仲介事業者と自営型テレワーカーが、トラブルを未然に防止し円滑に業務を進めることを目的としたセミナーです。

※会社に雇用されないで、請負契約等により、主に自宅などでテレワークを行う方やそのような方へ業

務委託をしたいと考えている事業者の方等に向けた説明会です。

開催日：東京都 2019年 7月11日（木）時間14:00（13:30開場）～16:00

詳細、申込はWEBサイトにて

<https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/20190711.html>

●「HeForSheプラスワン！」について（6月30日（日）14:00～16:30）【UN Women】

6月下旬に国連女性組織（UN Women）のムランボ＝ヌクカ事務局長が来日されることを記念して、UN Women 主催で6月30日（日）14:00から、国連大学（東京都渋谷区）において、「HeForSheプラスワン！」が開催されます。

参加を希望される方は、事前申し込み制となっておりますので、以下のサイト等から、お申し込みください。

サイト：<http://japan.unwomen.org/ja/news-and-events/events/2019/6/heforshe-plus-one#view>

FB：

<https://www.facebook.com/unwomenjapan/photos/a.1675787049357445/2348719538730856/?type=3&theater>

●「W P L サミット2019」が6月26日から27日まで国会で開催されます！【衆議院事務局】

6月26日及び27日に、衆議院と女性政治家の国際的なネットワークであるWoman Political Leaders（W P L）の共催により、世界中から女性政治指導者が集う「W P L サミット2019」が開催されます。

「SDGsを通じて社会の発展に向けてアクションを起こそう」のテーマの下、

ジェンダー平等、女性の健康や循環型社会といった経済・社会をめぐる諸課題について、どのように具体的行動を起こすべきかについて、活発な議論が行われます。

※会議のプログラムなど詳細は以下のリンクをご参照下さい（英語サイト）。

<https://wplsummit.org/>

（一般の方に向けて、会議の様様をライブストリーミングで公開予定です。）

=====

●内閣府 男女共同参画局のホームページは、男女共同参画に関する総合的な情報提供サイトです。男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・活動等の情報を掲載しています。

<http://www.gender.go.jp>

●男女共同参画局メールマガジンについて

男女共同参画局メールマガジンは、隔週金曜日に配信しています。

次号は、令和元年6月28日（金）に配信する予定です。

=====

●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/index.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0001.html>

